

補正予算の概要

第1回定例会では、平成29年度予算の審査に先立ち、4028万円を減額する平成28年度一般会計補正予算（第7号）ほか10件が提出され、3月3日（金）の補正予算特別委員会でも審査し可決しました。以下では、補正予算特別委員会での主な質疑の内容を紹介いたします。

補正予算特別委員会（質疑の抜粋）

コミュニティFM事業について

Q リージョンプラザにFM局を整備することになった経緯について聞

A にぎわい創出の観点から、市民の参加がで

るよう駅前をはじめ中心市街地にある複数の施設の比較検討を行い、タイムスケジュールと採算性から選定した。

道の駅指定管理者による寄附について

Q 指定管理者による寄

附は初めてであるが、指定管理者制度において収益が出た場合の寄附行為と今後の管理のあり方について問う。

A 今回は、寄附という形をとっているが、収益施設、黒字施設についての余剰金等の取り扱いのルールづくりを早急にしたい。

指定管理の在り方については、今年度から庁内経営企画会議を設定し、個々の指定管理をどのようにしていくかという検討を始めている。

Q 指定管理者の寄附が指定管理者の固定化につながらないか。

A ルールづくりができていない中での寄附だが、一定期間を定めての指定であり、その懸念はない。

第6期介護保険事業計画

Q 第6期介護保険事業計画中の施設整備の進捗状況と、目標達成に向けた取り組みについて聞く。

A 小規模地域密着型介護老人福祉施設について

は、昨年10月に公募したが、人材確保等が難しいため、応募が無く予定通りに進んでいない。対策として人材の確保のため、28年度より研修費助成を行っている。

また、介護老人施設の整備については市内の法人等に働きかけ、整備計画の目標達成に積極的に取り組んでいく。

討論・採決

【討論】

補正予算特別委員会でも審査された議第36号について、反対の討論が行われた。

・反対討論

生活道路の整備など市民要望には十分な補正予算での対応がない一方、10億7千万円の繰上げ償還を行っている。

【採決】

討論された議第36号は、起立採決の結果、賛成多数で可決。ほか10件については、全員一致、原案どおり可決した。



にぎわいのある道の駅みはら神明の里



FM局が整備される三原リージョンプラザ